

記入例

令和 年 月 日

(あて先) 京都市長

「令和3年度地域連携型空き家対策促進事業」取組団体 応募申請書

1 団体・グループ名称	◇◇◇自治連合会
2 代表者名	きょうと たろう 京都 太郎
3 取組地域名 (学区名等)	〇〇〇区▲▲学区
4 担当者名 ※3名程度お書きください	きょうと たろう 1 京都 太郎 (◇◇◇自治連合会会長) みやこ はなこ 2 京 花子 あき いえお 3 空 家男
5 連絡先住所	〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
6 電話番号	075-222-3503 090-〇〇〇-〇〇〇〇
7 FAX 番号	075-222-3478
8 電子メール	〇〇〇〇〇@city.kyoto.lg.jp
9 事業取組体制(メンバー構成, 参加人数等)	◇◇◇自治連合会 会長 ◇◇◇町内会長会 会長 ◇◇◇体育振興会 会長 ◇◇◇防犯推進委員会 部長

<裏面に続く>

<p>10 連携する地域自治組織, 連携の方法</p>	<p>地域自治組織等と連携する住民グループの場合, 地域自治組織等の名称, 連携の方法についてお書きください。</p> <p>〇〇学区自主防災会と連携</p>
<p>11 取組の背景</p>	<p>ご近所での空き家の状況, 空き家が増えることで, 皆さんがお困りのことなどについてお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き巣や不法投棄, 放火等, 空き家が犯罪の温床になる可能性を感じた。 ・ 空き家を放置すると, 老朽化により自然倒壊の危険性がある。
<p>12 取組の目標</p>	<p>今回の取組の目標とすることについてお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学区内にある空き家の状況を把握し, 防災上危険な空き家や活用可能な空き家を整理して, 必要な対策を講じる。 ・ 空き家の有効活用に向けて, 地域で連携する。 ・ 危険家屋で活用が困難な空き家については, 所有者に対して適正管理や除却を促す。
<p>13 取組方法</p>	<p>空き家対策に地域で取り組むことが必要であることを, 住民の皆さんにお分かりいただくための方法や, 地域内の空き家がどこにあって, 所有者がどこにいるのかを調べるための方法などについてお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各町内会長を通じて, 空き家の所在地を把握し, 地域住民によるまち歩きにより現状を確認する。 ・ 登記簿調査により所有者を特定し, 空き家の活用を促す。 ・ チラシの回覧や地域イベント等を通じて, 空き家対策の取組について, 地域住民への周知に努める。